

(お知らせ)

当所1号機タービン駆動原子炉給水ポンプ吐出弁（B）の復旧と
今後のプラント全体の機能試験の工程について

平成22年5月30日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所1号機については、平成22年5月21日午後10時45分より復水器の真空度の上昇操作を行い、プラント全体の機能試験を開始しましたが、タービン駆動原子炉給水ポンプ吐出弁（B）に不具合が発生したことから、シート面の磨きや弁を閉めた際に配管側と接する当たり面の調整等を行い、弁の復旧を完了するとともに、シートリーク*による原子炉水位の有意な上昇が無いことを確認しました。

これを受け、当社は、本日午後10時より、再度、復水器の真空度の上昇操作を開始いたします。その後、順調に進めば明日午後2時より制御棒の引き抜き操作を開始し、原子炉を起動する予定です。

当社としては、引き続き、安全・安心を第一に、一つひとつ着実にプラント全体の機能試験を実施してまいります。

以 上

*** シートリーク**

弁のシート面（液体などの流れを遮る部分）に隙間が生じて、配管内の流れを止めることができない状態。